

県民にひらかれた県議会へ 日本共産党の提案が結実

日本共産党は、「良識の府」「言論の府」にふさわしい開かれた県議会をめざし、十分な発言機会の保障と民主的運営、県民への全面的公開、政務調査費など公金使用の透明性確保を議長に申し入れ、議会改革に努力してきました。

6月県議会で議長のもとに「千葉県議会あり方懇談会」が設置され、協議が続けられています。このほど、日本共産党が提案した内容の一部が合意されました。引き続き、県民にひらかれた県議会をめざします。

小松 実（千葉市花見川区）
党県議団長・総務常任委員

丸山慎一（船橋市）
健康福祉常任委員

岡田幸子（市川市）
文教常任委員

みわ由美（松戸市）
県土整備常任委員

日本共産党千葉県議会議員団

→ 交通費実費に（大幅減額） → 議事録作成、傍聴自由

費用弁償 鉄道、バス、ガソリン代のみ

日本共産党は「費用弁償は廃止 1万2200円」が支を。当面は実費支給に改めるべき」と主張。9月県議会から交通費のみ実費支給になりました。

これまでは、議会開会中に議員が議会に来れば、費用弁償として、一人当たり月額1万4600円（千葉市内の議員は200万円にも及んでいました。



議長（左端）へ申し入れ（5月16日）
（左から）小松実、丸山慎一、岡田幸子、みわ由美の各県議

費用弁償 委員会

委員 ホームページで議事録公開

常任委員会の会議録を作成し、県議会のホームページで公開することになり、日本共産党が一貫して求めてきたことが実を結びました。

これまでは、質疑の要点メモがあっただけで、しかも非公開でした。

常任委員会の傍聴も、委員長の許可制から、本会議と同様に原則公開となりました。議会運営委員会や特別委員会も同じ扱いとなる方向です。

これらは、来年、6月県議会から実施されます。

沖縄戦「集団自決」日本軍の強制を削除した教科書検定 撤回求める意見書を日本共産党が提出

自民党が否決

政府が高校の歴史教科書検定で、沖縄戦での「集団自決」について、日本軍による命令・強制・誘導等の表現を削除させたことに、沖縄では島ぐるみの怒りがわきおこり、全国に広がっています。

日本共産党は、県議会で検定意見の撤回を求める意見書（下記要旨参照）を提出しました。しかし自民党が反対、県民の願いを葬り去りました。

9月県議会

日本共産党は、侵略戦争美化を許さず、歴史の事実を伝え、憲法9条を守るため、みなさんと一緒に全力でがんばります。

沖縄戦『集団自決』への軍の関与を否定する教科書検定意見の撤回を求める意見書（要旨）

文部科学省は08年度使用の高校歴史教科書の検定に際し、「沖縄戦の実態について誤解するおそれのある表現である」との検定意見を付し、5社7冊の高校日本史の教科書で日本軍による命令・強制・誘導等の表現を削除、修正させた。

沖縄県と県下41自治体すべての議会が今回の検定に「到底容認できるものではない」と抗議し、9月29日には11万人が参加して検定意見の撤回を求める県民大会が開かれた。いま、検定撤回を求める声は沖縄を始め全国に広がっている。

沖縄戦で犠牲となった12万人の県民の中に、日本軍による県民虐殺や日本軍強制による「集団自決」があったことは疑問の余地がない。多くの県民が「自決を促された」と証言していることも強制の証である。

にもかかわらず文科省が日本軍の強制に関する記述を削除したのは、過去の侵略戦争を肯定し、日本軍の行為を美化するものであり、断じて認められない。

沖縄戦を含め、歴史の事実、真実を、未来に生きる子どもたちに正しく伝えてこそ、平和な社会を希求し、悲惨な戦争を再び起こさない道を歩むことができる。

本議会は、沖縄戦の「集団自決」への日本軍の関与を否定した教科書検定意見の撤回を強く求める。